

事務事業名 二日市温泉活性化事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：1638

施策：	06 観光の振興	財務コード	01060103-12-398
基本事業：	01 観光資源の活用	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	温泉利用客数 市祭等のイベントにおける物産品売上額	担当課	商工観光課
		担当係	



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成24年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民、市外住民		市内で開催される祭り等のイベントにて、来場者に御前湯の入浴割引券を配布し、二日市温泉をアピールする。 割引 100円 × 87人 = 8,700円 割引券印刷代 19,800円				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
筑紫野市の観光に欠かせない二日市温泉が広く知られ、駅やインターが近い交通の利便性を生かし、多くの観光客が訪れることで、市の観光全体の活性化につなげたい。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
二日市温泉の入湯客数	人	262,881	314,403	400,000	320,000			400,000

5. コスト								
事業費	計	千円	29	29	100	182		
	国	千円			0	0		
	県	千円			0	0		
	地方債	千円			0	0		
	その他	千円			0	0		
	一般	千円	29	29	100	182		
正職員人工数	人工	0.1	0.1	0.2				
正職員人件費	千円	773	782	1,605				
トータルコスト(事業費 + 正職員人件費)	千円	802	811	1,705	182			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている	御前湯の入浴割引券を配布し、二日市温泉をアピールする目的で予算計上している。							
どちらかといえばあがっている	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策に伴い、入浴割引券の配布は実施できていない。							
あがっていない（停滞・低下）	令和3年度は、筑紫野もみじ祭にて入浴割引券を配布。利用者は79名。 令和4年度は、筑紫野もみじ祭及びもみじ祭プレイイベントにて入浴割引券を配布。利用者は102名。 令和5年度は、筑紫野もみじ祭及びもみじ祭プレイイベントにて入浴割引券を配布。利用者は87名。							
	【二日市温泉入湯客数】 H29:380,322人、H30:363,597人、R1:351,708人、R2:211,857人、R3:216,882人、R4:287,247人、R5:314,403人							

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし	観光資源を活用し誘客を図る取り組みが必要である。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし					
成果向上余地	中程度							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								

今後は御前湯での利用に限らず二日市温泉の他の日帰り湯でも利用できるとともに、市内に限らず、市内外の様々なイベントの際に入浴割引券を配布することで、引き続き二日市温泉のアピールを続けていきたい。								
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄				
二日市温泉の活性化を図る。観光客の誘致。								